

第77回中国高等学校陸上競技対校選手権大会兼全国大会中国地区予選会



- 1 主催 中国陸上競技協会 中国高等学校体育連盟 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校体育連盟
- 2 主管 中国高等学校体育連盟陸上競技専門部 鳥取陸上競技協会 鳥取県高等学校体育連盟陸上競技専門部
- 3 後援 鳥取県スポーツ協会 鳥取市教育委員会 鳥取市体育協会
- 4 協賛 (株)デサント アシックスジャパン(株) ミズノ(株) (株)ニシ・スポーツ (株)クレマー・ジャパン
- 5 期日 令和6年6月13日(木)～16日(日) 開会式 13日(木) 16:00
閉会式 16日(日) 15:30(予定)
- 6 会場 ヤマトスポーツパーク陸上競技場(布勢運動公園陸上競技場)
〒680-0094 鳥取市布勢146-1 布勢運動公園陸上競技場内 TEL 0857-28-7221
- 7 種目 男子(21種目)
100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mH・400mH・3000mSC・5000m競歩・4×100mR・4×400mR
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・八種競技
女子(20種目)
100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mH・400mH・5000m競歩・4×100mR・4×400mR
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・七種競技
※WRk対象種目は男子八種競技とリレー以外の全種目とする。
- 8 参加資格 第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会実施要項(以下、全国大会)に準じて、各県予選会において、中国大会参加の資格を得た者であり、学校長が認めた者とする(別紙)。
- 9 参加制限 (1) 出場は、各種目とも各県予選会の6位までの入賞者(チーム)とする。但し、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名、男女5000m競歩は5位までの入賞者、混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。
(2) 各校1種目3名以内。リレーは1校1チーム6名以内とし、同一人は3種目以内(リレーを除く)とする。
(3) 外国人留学生については、1校男子4名、女子4名以内とし、1種目1校1名の出場とする。(この種目には、リレーも含む)但し、リレーに出場する場合には、個人種目と合せて男子は、1校最大4種目、女子は、1校最大4種目とする。
- 10 競技方法 (1) 2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに全国大会要項に準ずる。また本大会申し合わせ事項による。
(2) 男女別の学校対抗とする。
(3) 各種目の得点は、1位8点……8位1点とする。
(4) 全国大会へは各種目6位までの入賞者(チーム)とする。但し、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名、男女5000m競歩は5位までの入賞者、女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。男女混成競技は3位までの入賞者と各地区4～6位の中で全国上位5位までが出場権を得る。
- 11 表彰 次により、男女別に表彰する。
(1) 学校対校総合得点 優勝校 中国高体連陸上競技部杯・賞状
第2位校 〃
第3位校 〃
トラック優勝校 〃
フィールド優勝校 〃
種目別優勝者 〃
(2) 総合得点8位まで、トラック、フィールド3位までの学校を表彰する。
(3) 種目別第3位まで表彰する。(第8位まで賞状を贈る)
(4) 種目別第3位までの者にメダルを贈る。
(5) 総合優勝校の監督に監督賞(記念品)を贈る。
(6) 前年度優勝校にレプリカを贈る。
- 12 申込方法 (1) 所定の様式により各県委員責任のもと、下記宛一括で申し込むこと。
◆申込先 〒689-2221 鳥取県東伯郡北栄町由良宿291-1
鳥取県立鳥取中央育英高等学校 永代浩孝 宛
TEL 0858-37-3211 FAX 0858-37-3212
E-Mail nagayo_hr@mailk.torikyo.ed.jp
◆申込期日 令和6年6月2日(日)17:00必着
- (2) 申込書類(各県専門部委員長)
ア 2024riku県名ファイルの入力ができ次第、指定のメールアドレスまで送信する。
イ 県予選会の成績一覧表を指定のメールアドレスまで送信する。
ウ 県予選会のリザルトデータ(記録集)を指定のメールアドレスまで送信する。
- (3) 大会参加申込書(様式3)と宿泊申込書(様式4)は各県委員長に提出すこと。【締切6月7日(金)】

- (4) 個人情報の取り扱いについて
 ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはありません。
 イ) 参加申込書の提出により上記(ア)の取扱いに承諾を得たものと見なし、本大会が認めた報道機関にも公表します。その他取材を受けることもあります。
 ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがあります。
 エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、録画放映されることもあります。

- 13 参加料等 (1) 大会参加負担金 1人 2,500円
 納入方法・・・各学校→各県委員長→鳥取県(永代)銀行振込
 振込先・・・鳥取銀行 岩美支店 普通 0032469 鳥取県高体連陸上競技部 会計 内田八彰(ウチダ ヤツアキ)

- 14 宿泊申込 (1) 学校ごとに監督の責任において申し込むこと。
 (2) 大会参加者の宿泊は事務局が指定する。
 (3) 宿泊料(別紙宿泊要項)
 15,000円～9,000円(1泊2食・税・サービス料込)
 13,000円～10,000円(1泊朝食またはサービス朝食・税・サービス料込)
 弁当 800円(消費税込み)
 ※ 同宿希望は同一校とみなして配宿します。それでも入らない時がありますのでご了承ください。
 (4) 申し込み時の予納金は必要としない。宿泊予定に変更がある場合は、3日前までに連絡のこと。
 無断キャンセルの場合は、後日学校長宛に1人につき別途のキャンセル料を請求する。
 (5) 宿泊などの取り消しについては「宿泊・弁当申し込み案内」に準じて、宿泊担当者へ申し出ること。
 (6) 宿泊の希望が無い場合も様式4を送付すること。
 (7) 中国五県委員会の申し合わせ事項により、各校独自での宿泊申込は、原則として認められない。
 やむを得ない事情がある場合は、各県委員長の承諾書を添え、宿泊申込書に宿泊予定先を朱記し、大会事務局へ送付のこと。
 (8) 申込期限・・・令和6年6月3日(月)17:00必着(FAX申し込み 様式4)

FAX送信先: 東武トップツアーズ(株)鳥取支店 FAX: 0857-27-3327

問い合わせ先	東武トップツアーズ(株)鳥取支店 担当: 脇田武志 〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2-159 久本ビル6F TEL: 050-9002-5454 FAX: 0857-27-3327
振込先	みずほ銀行 東武支店 当座 9776893 口座名義: 東武トップツアーズ株式会社

- (9) 宿泊代金の納入は事前に振り込むか、または、大会当日、競技場で業者に納入する。
 15 アスリート (1) 開催県(鳥取)が作成し、五県委員会で配布する。
 ビブス (2) 番号順(男女共通番号)は男子は白地に黒、女子は白地に赤とする。
 山口県: 1~199 広島県: 201~399 岡山県: 401~599
 鳥取県: 601~799 鳥根県: 801~999
 (3) 各県委員は、上記番号で申込書を作成する。
 16 連絡事項 (1) 練習は、別紙計画表によって指定場所で練習できる。
 (2) スパイクシューズのピンは、9mm以内とする。ただし走高跳・やり投は12mm以内とする。
 (3) 競技者は引率責任者により引率され、引率責任者は競技者のすべての行動に責任を負うものとする。
 (4) 競技中に生じた事故について主催者側は応急処置はするが、その後の責任は負わない。
 (5) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。投てき用具については検査の上、使用することを認める。なお、検査後は主催者が預かる。検査は競技開始120分前から90分前までに検査場で行う。
 (6) ポールの送り先(返送は各校で手配をお願いします)
 ヤマトスポーツパーク陸上競技場(布勢運動公園陸上競技場)
 〒680-0094 鳥取市布勢146-1 TEL 0857-28-7221 FAX 0857-28-7221
 (7) 五県委員会 6月13日(木) 13:00 布勢運動公園陸上競技場(第3研修室)
 監督会議 6月13日(木) 15:00 布勢運動公園陸上競技場(第1研修室)
 (8) 開会式 6月13日(木) 16:00 布勢運動公園陸上競技場
 閉会式 6月16日(日) 15:30 布勢運動公園陸上競技場

参加資格(別紙)

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により中国大会参加の資格を得た者に限る。
 (3) 年齢は平成17(2005)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 (4) チームの編成においては、全日制課程・通信制課程・定時制課程の生徒による混成は認めない。
 (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。
 (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い参加を認める。
- イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に所属する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

(9) 都道府県陸上競技協会を経て(財)日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。

[大会参加資格の別途に定める規定]

1. 学校教育法第72条、第115条、124条、134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア (財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限とも高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、中国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 中国高校陸上競技対校選手権大会開催基準を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 引率責任者は校長の認める学校の職員とすること。また、校長から引率を委嘱された『部活動指導員』(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、『部活動指導員』に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
 - ウ 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。ただし、各県に規定があり、この基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
 - エ 大会の開催に要する経費については、応分の負担をすること。

[感染症予防対策に関すること]

本大会の感染症予防対策は、各競技団体(日本陸上競技連盟)が示す最新のガイドラインに沿って、競技運営を行うことを基本とする。また、大会開催地独自の対策について、参加する学校の関係者(選手、監督、コーチ、引率責任者、保護者等)は、その開催地の方針に従うとともに安全で円滑な運営に協力をする。